



あけましておめでとうございます

今年も、ご家庭の空気をきれいに保つ換気や便秘など腸に関する体調管理、そして在宅看護を通してのご家族へのサポートやアドバイスなど、MANAらしいお手伝いを一生懸命がんばります。本年もよろしくお願いいたします。



昨年10月に福岡市博多区に ケアサポートMANA福岡が誕生しました。

総勢4名からのスタートですが、東京でのノウハウ・経験を活かし、みなさまの期待に応えられるよう明るく、元気に邁進してまいります。



管理者 Interview



梶崎 和恵

ケアサポートMANA福岡
看護師/管理者

縁あってMANAと出会い、そこでの考えが私の理想とする看護観そのもので、ビビッとするものを感じました。今はMANAで働けることが嬉しくて仕方ありません。またMANAで働きだして最近楽しかったことは、事務所で開かれた外部講師を呼んでのセミナーでした。話の内容も手技も驚きとワクワクがいっぱいで、あんなに楽しかったセミナーは初めてでした。

これからも、学びの気持ちを持ち続け、常に新しい、正しい情報をスタッフ間で共有しながら成長出来ればと思います。そして利用者さん、ご家族の痛みや喜びなど、色々なことをMANAのスタッフ全員で一緒に考え、そしてMANAに関わる全ての方を支え続けていける、そのようなステーションを目指していきたいと思っています。

赤十字病院や大学病院の集中治療室、救急センターなどを経て、療養型病院にて勤務、そこでは患者様の入退院支援看護師も経験し、訪問看護師へ。



ちゃんと“換気”してますか？ ver.5



寒い季節になると窓を大きく開けてリフレッシュ、というわけにはいきませんよね。ところが冬は夏と比べて室温と外気温との差が大きく、窓を開けると空気が流れやすく、夏よりも短時間で換気ができたり、日照時間は短いですが日差しの角度が低く部屋の奥まで日が届くので、日中はカーテンを開けて日の光で室内を暖めることもできますので、この季節ならではのひと工夫を心がけましょう。また暖房器具はそれぞれ一長一短ありますが、リーズナブルに部屋全体を温め、空気の汚れが少ないエアコンがおすすめです。



つまり冬の換気は事前になるべくお部屋を温めておいて、エアコンをつけたまま、エアコンから遠い窓を開けて、短時間にこまめに行うことがポイントです。そして窓は外気が部屋中に行き渡るように入出口、可能な範囲で離れた2箇所の窓を開けましょう。浴室やトイレにある換気扇の常時運転も有効ですが、フィルター清掃を忘れないでください。厚生労働省によると、お部屋の換気が適切かどうかは、二酸化炭素(CO2)濃度が1,000ppmを超えていないかの確認が有効だそうです。

MANAスタッフにお申し出くだされば、訪問時にCO2濃度測定器による、濃度測定を実施いたします。また、ご質問などございましたらお気軽にお尋ねください。持田先生にもアドバイスをいただいております。



持田 灯 教授 工学博士 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻/地域環境計画学分野

MANA坊劇場 by みなみ



お試しリハビリ実施中!

- どんなりハビリしてくれるの?
- リハビリ依頼したいけど利用者様が受け入れてくれるかな...など、不安があると思いますが、まずはご連絡ください。

無料でのリハビリ体験もあります。



連絡先: 03-6382-8142

MANA 公式 SNS 稼働中!



LINE

ホームページも更新中!

サポートMANA 検索



MANA HP



株式会社コンディショニングサポート MANA
164-002 東京都中野区本町6-35-15-101
Tel&Fax 03-6382-8142

